



「門出のまつり」がんばりました！

11月10日(日)、「第41回土佐日記門出のまつり」が盛大に開催されました。

本校からは、毎年恒例の4・5年生による「まほろば囃子奉納」、6年生による「土佐日記の暗誦朗読」を行いました。

4・5年生は、満開のコスモス畑をバックに、仲間とリズムを合わせながら演奏し、あたりに素敵な音色が響いていました。6年生は、土佐日記の冒頭部分をしっかりと覚え、最後まで立派に暗誦することができました。南国市長さんをはじめ多くの方々から、「素晴らしかった！」「今までで一番良かった！」などとお褒めの言葉をたくさんいただきました。

当日までに地域の皆さんが様々な準備をしてくださり、当日も朝早くからのお接待などで大変お世話になりました。地域の皆さんが、この門出のまつりを大切にされ、地域の歴史・文化を継承していく強い思いが、子どもたちにもしっかりと受け継がれたことと思います。地域を誇りに思う気持ちが、一層高まったことでしょう。6年生は、高知新聞の取材に、「貫之さんがひらがなを使って土佐日記を書くまで、男性は漢字だけで手紙などを書いていたらと知ってびっくりした。暗唱は大きな声でゆっくりとできたので、貫之さんにも伝わったと思う」と語っていました。

地域の皆様、保護者の皆様、このような行事を開催していただき、本当にありがとうございました。

4・5・6年生、大変すばらしかったです。お疲れさまでした！



4・5年生のお囃子



6年生の土佐日記暗誦



6年生の朗読を聞く4・5年生



お接待のおぜんざいもいただきました

ヘルスメイトさんと一緒に朝食づくりをしました(5年生)

食育の一環として、南国市食生活改善推進協議会の推進員(ヘルスメイト)さんが、5年生に朝食づくりの実習をしてくださいました。朝食をとることの大切さを教えていただくとともに、「牛肉のしぐれにおにぎり」「具たくさんみそ汁」を児童が作りました。昆布や鰹節から丁寧にだしを取り、おいしそうな匂いが漂っていました。お家でのお手伝いで包丁の扱いにも慣れている児童が多く、みんなで協力しながら手際よく調理をしていました。休みの日などには、家族にふるまってあげられるといいですね。



無言で掃除をしよう！



2学期からは、「無言掃除」をがんばっています。静かに落ち着いて掃除ができる班が増えました。

ぞうきん掛けも丁寧にできる人がたくさんいます。これからもがんばりましょう。

